

新スリムシティさっぽろ計画 事業評価シート

【事業の概要】

事業名	焼却灰リサイクル事業			
事業内容 (取組内容)	白石・駒岡清掃工場から発生した焼却灰をセメント材料にリサイクルする。			
事業の目的・目標	最終処分場の延命化及び循環型社会の構築を図るため。 (リサイクル量を15,000 tから拡大する)			
事業の指標	指標1	焼却灰セメントリサイクル量	目標	15,000 t以上
	指標2	—	目標	—
所管課	施設管理課	関係課	—	

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標 (最大2つまで)	埋立処分量の減量目標
対応するモニター指標	—
対応施策：大	施策5 持続可能な収集・処理体制の確立
施策：中	5-1 資源循環処理体制の確立
施策：小	(2) 焼却灰リサイクルの推進
他の施策(番号のみ)	—

【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること

H30	事業費	計画15,000トンに対し14,502トン 約96.7%達成 白石及び駒岡清掃工場の焼却灰をセメントの原料としてリサイクルを行った
	全	406,410 千円 駒岡 3,719トン
	内	(406,410) 千円 白石 10,783トン
R1	事業費	計画15,000トンに対し14,510トン 約96.7%達成 白石及び駒岡清掃工場の焼却灰をセメントの原料としてリサイクルを行った
	全	405,770 千円 駒岡 3,646トン
	内	(405,770) 千円 白石 10,864トン
R2	事業費	計画19,000トンに対し18,505トン 約97.4%を達成 白石及び駒岡清掃工場の焼却灰をセメントの原料としてリサイクルを行った。
	全	540,998 千円 駒岡 5,799トン
	内	(540,998) 千円 白石 12,706トン
R3	事業費	計画18,100トンに対し17,512トン 約96.8%を達成 白石及び駒岡清掃工場の焼却灰をセメントの原料としてリサイクルを行った。
	全	502,598 千円 駒岡 4,377トン
	内	(502,598) 千円 白石 13,135トン

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

【自己評価】 ※H30~R3を通して

評価項目	定量的評価(数値あり)		定性的評価(数値なし)
	達成状況	◎	(◎:達成 ○:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -:他)
スリム目標への貢献度			埋立処分量の基準年度H28が87,151 t R3が68,996 tと18,155 tの減量となっており、この事業が減量に貢献している。
事業の実施結果 (目的・目標の達成状況など)			焼却灰リサイクル量の実績として、R2は18,505トン、R3は17,512トンとなり、目標を達成した。
事業の評価・課題			順調に推移していると評価できる。
今後の事業方針 (課題への対応や事業目標の設置)			事業を継続拡大し、更なる資源の有効利用と埋立地の延命化に寄与したい。

【懇話会の意見等】 懇話会で意見があった場合のみ記載する

意見・提案等	
--------	--

新スリムシティさっぽろ計画 事業評価シート

【事業の概要】

事業名	駒岡清掃工場更新事業			
事業内容 (取組内容)	安定したごみ処理体制を維持するため、老朽化した駒岡清掃工場の建て替えを行うとともに、効率的なエネルギー回収システムを導入することにより、ごみ焼却エネルギーの更なる活用を図る。			
事業の目的・目標	老朽化した工場の更新及び3工場体制の維持による効率的な収集体制や安定的なごみ処理体制の維持を図る。			
事業の指標	指標1	駒岡清掃工場の更新	目標	—
	指標2	—	目標	—
所管課	施設管理課	関係課	—	

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標 (最大2つまで)	埋立処分量の減量目標
対応するモニター指標	—
対応施策：大	施策5 持続可能な収集・処理体制の確立
施策：中	5-1 資源循環処理体制の確立
施策：小	(4) 駒岡清掃工場更新計画
他の施策(番号のみ)	6-1-(2)

【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること

H30	事業費		<ul style="list-style-type: none"> 基本計画の策定 環境影響評価手続き(準備書・評価書) 敷地造成工事(実施設計) 周辺道路の整備
	全	147,879 千円	
	内	(147,879) 千円	
R1	事業費		<ul style="list-style-type: none"> 事業者選定手続き(総合評価一般競争入札方式) 敷地造成工事(樹木伐採・雨水調整池整備) 周辺道路の整備
	全	1,005,138 千円	
	内	(1,005,138) 千円	
R2	事業費		<ul style="list-style-type: none"> 特定事業契約締結(DBO方式) 敷地造成工事(整地・法面整備) 環境影響評価事後調査(工事中) 周辺道路の整備
	全	497,772 千円	
	内	(497,772) 千円	
R3	事業費		<ul style="list-style-type: none"> 新工場の建設工事 周辺道路の整備
	全	661,268 千円	
	内	(661,268) 千円	

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

【自己評価】 ※H30~R3を通して

評価項目	定量的評価(数値あり)		定性的評価(数値なし)	
	スリム目標への貢献度	達成状況 ◎		(◎:達成 ○:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -:他)
事業の実施結果 (目的・目標の達成状況など)	施設の設計・建設及び維持管理を民間事業者に包括的に委託するDBO方式にて実施しており、令和6年度末の竣工に向けて新工場の建設工事を進めている。			
事業の評価・課題	事業手法については、民間活力を活用した施設整備手法の採用を検討し、DBO方式を採用した。 建設工事については、令和3年度に土木建築工事に着工し、計画通り進んでいる。			
今後の事業方針 (課題への対応や事業目標の設置)	引き続き、令和6年度末の竣工に向けて、新工場の建設工事を進めていく。			

【懇話会の意見等】 懇話会で意見があった場合のみ記載する

意見・提案等	
--------	--

新スリムシティさっぽろ計画 事業評価シート

【事業の概要】

事業名	東米里西処理場造成事業			
事業内容 (取組内容)	ごみ貯留施設造成の基盤整備を行うための載荷盛土、動態観測を実施する。 ①載荷盛土工事 ②盛土動態観測業務			
事業の目的・目標	廃棄物の適正処理を維持するため埋立地容量を確保する。			
事業の指標	指標1	盛土量	目標	—
	指標2	—	目標	—
所管課	施設管理課	関係課	—	

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標 (最大2つまで)	—
対応するモニター指標	—
対応施策：大	施策5 持続可能な収集・処理体制の確立
施策：中	5-2 埋立地の容量確保
施策：小	(1) 埋立地の容量確保
他の施策(番号のみ)	—

【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること

H30		①載荷盛土工事 (5.6万㎡) ②盛土動態観測業務
全	事業費 71,397 千円	
内	(71,397) 千円	
R1		①載荷盛土工事 (7.5万㎡) ②盛土動態観測業務
全	事業費 65,716 千円	
内	(65,716) 千円	
R2		①載荷盛土工事 (8.6万㎡) ②盛土動態観測業務
全	事業費 68,485 千円	
内	(68,485) 千円	
R3		①載荷盛土工事 (5.6万㎡) ②盛土動態観測業務
全	事業費 66,963 千円	
内	(66,963) 千円	

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

【自己評価】 ※H30~R3を通して

	定量的評価 (数値あり)		定性的評価 (数値なし)
	スリム目標への貢献度	/	
事業の実施結果 (目的・目標の達成状況など)	達成状況	◎	(◎:達成 ○:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -:他)
事業の評価・課題	本市発注工事の建設発生土を盛土材として使用し、盛土工事を進めた。周辺の動態観測を行うことで、工事による影響がないことを確認した。		
事業の評価・課題	盛土工事の実施にあたっては、本市発注工事の建設発生土を盛土材として使用することで経費の削減に努めた。		
今後の事業方針 (課題への対応や事業目標の設置)	引き続き、本市発注工事の建設発生土の受入れを行い、貯留施設造成に向けて計画的に盛土工事を実施する。		

【懇話会の意見等】 懇話会で意見があった場合のみ記載する

意見・提案等	
--------	--

新スリムシティさっぽろ計画 事業評価シート

【事業の概要】

事業名	白石破碎工場更新事業			
事業内容 (取組内容)	安定したごみ処理体制を維持するため、昭和55年度から稼働開始し老朽化した篠路破碎工場を白石清掃工場敷地内に白石破碎工場として更新する。			
事業の目的・目標	篠路破碎工場を更新し、適正なごみ処理体制を維持する。			
事業の指標	指標1	白石破碎工場の更新	目標	—
	指標2	—	目標	—
所管課	施設管理課	関係課	—	

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標 (最大2つまで)	埋立処分量の減量目標
対応するモニター指標	—
対応施策：大	施策5 持続可能な収集・処理体制の確立
施策：中	5-1 資源循環処理体制の確立
施策：小	(3) 計画的な処理施設の整備等の検討
他の施策(番号のみ)	6-1-(2)

【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること

H30	事業費	—	
	全		— 千円
	内		— 千円
R1	事業費	—	
	全		— 千円
	内		— 千円
R2	事業費	・地歴調査 ・基本計画策定	
	全		7,887 千円
	内		(7,887) 千円
R3	事業費	・生活環境影響調査 ・PPP/PFI導入可能性調査	
	全		6,490 千円
	内		(6,490) 千円

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

【自己評価】 ※H30~R3を通して

評価項目	定量的評価(数値あり)		定性的評価(数値なし)	
	スリム目標への貢献度	—		—
事業の実施結果 (目的・目標の達成状況など)	達成状況	—	(◎:達成 ○:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -:他)	
事業の評価・課題	令和3年度に行ったPPP/PFI導入可能性調査の結果から、本事業は施設の設計・建設及び維持管理を民間事業者に包括的に委託するDBO方式により実施することとし、令和9年度の稼働開始を目標に計画を進めている。			
今後の事業方針 (課題への対応や事業目標の設置)	令和5年度末に契約締結、令和8年度末の竣工を予定しており、進捗としては計画通りである。			
意見・提案等	引き続き、令和8年度末の竣工に向けて、計画を進めていく。			

【懇話会の意見等】 懇話会で意見があった場合のみ記載する

意見・提案等	
--------	--

新スリムシティさっぽろ計画 事業評価シート

【事業の概要】

事業名	山本処理場整備費			
事業内容 (取組内容)	山本処理場の機能維持及び埋立容量を確保するため、処理場で稼働する機器の整備や築堤造成整備などを行う。			
事業の目的・目標	山本処理場の廃棄物の適正処理が可能となるように処理場で稼働する機器を維持するとともに、埋立地の容量を確保する。			
事業の指標	指標1	—	目標	—
	指標2	—	目標	—
所管課	施設整備課	関係課	施設管理課・処理場管理事務所	

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標 (最大2つまで)	—
対応するモニター指標	—
対応施策：大	施策5 持続可能な収集・処理体制の確立
施策：中	5-2 埋立地の容量確保
施策：小	(1) 埋立地の容量確保
他の施策(番号のみ)	5-4-(3)

【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること

H30	事業費	山本処理場の下記の整備を実施。 ・外壁改修 ・築堤造成整備
	全	48,777 千円
	内	(48,777) 千円
R1	事業費	山本処理場の下記の更新及び整備を実施。 ・外壁改修 ・受変電設備更新 ・屋根防水改修
	全	63,601 千円
	内	(63,601) 千円
R2	事業費	山本処理場の下記の整備を実施。 ・汚泥脱水機整備
	全	26,310 千円
	内	(26,310) 千円
R3	事業費	山本処理場の下記の整備を実施。 ・築堤造成整備
	全	44,330 千円
	内	(44,330) 千円

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

【自己評価】 ※H30~R3を通して

	定量的評価 (数値あり)		定性的評価 (数値なし)
	スリム目標への貢献度	/	
事業の実施結果 (目的・目標の達成状況など)	達成状況	◎	(◎:達成 ○:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -:他)
事業の評価・課題	山本処理場の埋立処理が滞りなく受け入れできていることから、埋立容量の確保及び処理場で稼働する機器の計画的な整備が行えたと考える。		
今後の事業方針 (課題への対応や事業目標の設置)	引き続き、埋立地の容量を確保するとともに、処理場で稼働する機器を維持するための計画的な整備を進めていく。		

【懇話会の意見等】 懇話会で意見があった場合のみ記載する

意見・提案等	
--------	--

新スリムシティさっぽろ計画 事業評価シート

【事業の概要】

事業名	山口処理場整備費			
事業内容 (取組内容)	山口処理場の機能維持及び埋立容量を確保するため、処理場で稼働する機器の更新や築堤造成整備などを行う。			
事業の目的・目標	山口処理場の廃棄物の適正処理が可能となるように処理場で稼働する機器を維持するとともに、埋立地の容量を確保する。			
事業の指標	指標1	—	目標	—
	指標2	—	目標	—
所管課	施設整備課	関係課	施設管理課・処理場管理事務所	

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標 (最大2つまで)	—
対応するモニター指標	—
対応施策：大	施策5 持続可能な収集・処理体制の確立
施策：中	5-2 埋立地の容量確保
施策：小	(1) 埋立地の容量確保
他の施策(番号のみ)	5-4-(3)

【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること

H30	事業費	山口処理場の下記の更新及び整備を実施。 ・現場盤更新 ・築堤造成整備
	全	47,457 千円
	内	(47,457) 千円
R1	事業費	山口処理場の下記の整備を実施。 ・外壁改修 ・築堤造成整備
	全	41,536 千円
	内	(41,536) 千円
R2	事業費	山口処理場の下記の整備を実施。 ・給水経路切替 ・飛散防止柵補修 ・築堤造成整備
	全	82,252 千円
	内	(82,252) 千円
R3	事業費	山口処理場の下記の整備を実施。 ・陸橋橋梁補修
	全	150,982 千円
	内	(150,982) 千円

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

【自己評価】 ※H30~R3を通して

	定量的評価 (数値あり)		定性的評価 (数値なし)	
	スリム目標への貢献度	/		/
事業の実施結果 (目的・目標の達成状況など)	達成状況	◎	(◎:達成 ○:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -:他)	
事業の評価・課題	山口処理場の埋立処理が滞りなく受け入れできていることから、埋立容量の確保及び処理場で稼働する機器の計画的な整備が行えたと考える。			
今後の事業方針 (課題への対応や事業目標の設置)	引き続き、埋立地の容量を確保するとともに、処理場で稼働する機器を維持するための計画的な整備を進めていく。			

【懇話会の意見等】 懇話会で意見があった場合のみ記載する

意見・提案等	
--------	--

新スリムシティさっぽろ計画 事業評価シート

【事業の概要】

事業名	枝・葉・草リサイクル事業			
事業内容 (取組内容)	家庭から排出される枝・葉・草を原料に資源化を行い、ごみ減量と資源リサイクルの推進を図る。 ①山本北地区での枝・葉・草堆肥化試験運用 ②定山溪堆肥化施設での資源化			
事業の目的・目標	①②市域内一般家庭から発生する枝・葉・草を原料として堆肥等を生産し、市域内に還元することにより循環型リサイクルを推進する。			
事業の指標	指標1	枝・葉・草処理量	目標	—
	指標2	—	目標	—
所管課	施設管理課	関係課	循環型社会推進課	

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標 (最大2つまで)	家庭から出る廃棄ごみ量の減量目標 埋立処分量の減量目標
対応するモニター指標	—
対応施策：大	施策5 持続可能な収集・処理体制の確立
施策：中	5-3 未利用資源の活用の検討
施策：小	(1) 廃棄物の資源化等に向けた調査・研究
他の施策(番号のみ)	—

【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること

H30	事業費	枝・葉・草資源化処理に係る施設搬入量
	全 185,757 千円	①山本北地区枝・葉・草資源化ヤード 18,500t
	内 (185,757) 千円	②定山溪の堆肥化施設 1,556t
R1	事業費	枝・葉・草資源化処理に係る施設搬入量
	全 188,618 千円	①山本北地区枝・葉・草資源化ヤード 18,800t
	内 (188,618) 千円	②定山溪の堆肥化施設 1,500t
R2	事業費	枝・葉・草資源化処理に係る施設搬入量
	全 170,151 千円	①山本北地区枝・葉・草資源化ヤード 19,760t
	内 (170,151) 千円	②定山溪の堆肥化施設 1,473t
R3	事業費	枝・葉・草資源化処理に係る施設搬入量
	全 194,929 千円	①山本北地区枝・葉・草資源化ヤード 17,969t
	内 (194,929) 千円	②定山溪の堆肥化施設 1,468t

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

【自己評価】 ※H30～R3を通して

スリム目標への貢献度	定量的評価(数値あり)		定性的評価(数値なし)
	<p>家庭から排出される枝・葉・草を資源化することにより、焼却ごみの減量に一定の効果があったと考えている。</p>		
事業の実施結果 (目的・目標の達成状況など)	達成状況	—	(◎:達成 ○:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -:他)
事業の評価・課題	<p>山本北地区枝・葉・草資源化ヤード及び定山溪の堆肥化施設で、札幌市内の家庭から排出される枝・葉・草全量を受け入れている。 これまで山本北地区における堆肥化試験運用では、ごみ減量に関する定性的評価を実施していたが、今後は事業再構築を行い目標を数値化した上で定量的評価を行うこととしたい。</p> <p>これまでの山本北地区での試験運用において、当初の課題であった堆肥の品質不安定、排出時に使用されるビニール片の堆肥への混入について、機器導入や処理工程の見直しにより、堆肥の品質改善を行ってきた。その結果、堆肥の外部利活用が可能になり、平成28年から市民や市内農家へ試験配布を実施している。 しかしながら、堆肥中の除去しきれないビニール片、葉・草と異なる組成のため堆肥化に長期時間要する枝の処理等、現システムが抱えている課題が判明している。</p>		
今後の事業方針 (課題への対応や事業目標の設置)	<p>当事業は今後も継続するが、これまでの試行運用で得られた知見や現在の課題点を基に評価・検証を行い、より効果的な資源循環を実現できるよう事業再構築を予定している。</p>		

【懇話会の意見等】 懇話会で意見があった場合のみ記載する

意見・提案等	
--------	--

新スリムシティさっぽろ計画 事業評価シート

【事業の概要】

事業名	発寒清掃工場運営管理費			
事業内容 (取組内容)	市域内から発生する一般廃棄物(可燃ごみ)及び告示で定める可燃性産業廃棄物を焼却処理する施設であり、当該事業は関係法令等に基づき適正に運営管理する事業である。最新の清掃工場として設備の自動化を推進するとともに、信頼性・安定性のある焼却、効率の良い運営管理を目指している。			
事業の目的・目標	市域内から発生する一般廃棄物(可燃ごみ)及び告示で定める可燃性産業廃棄物を関係法令に基づき適正に処理するため、設備の維持管理、保守点検、修繕を行う。			
事業の指標	指標1	—	目標	—
	指標2	—	目標	—
所管課	施設管理課	関係課		

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標 (最大2つまで)	—
対応するモニター指標	—
対応施策：大	施策5 持続可能な収集・処理体制の確立
施策：中	5-1 資源循環処理体制の確立
施策：小	(1) 廃棄物エネルギーの有効利用
他の施策(番号のみ)	5-4-(2)

【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること

H30	事業費		<ul style="list-style-type: none"> 点検整備・保守業務 機器修繕 部品費用 薬品費用 電気水道料金 その他運転に必要な経費
	全	661,350 千円	
	内	(661,350) 千円	
R1	事業費		<ul style="list-style-type: none"> 点検整備・保守業務 機器修繕 部品費用 薬品費用 電気水道料金 その他運転に必要な経費
	全	670,588 千円	
	内	(670,588) 千円	
R2	事業費		<ul style="list-style-type: none"> 点検整備・保守業務 機器修繕 部品費用 薬品費用 電気水道料金 その他運転に必要な経費
	全	695,727 千円	
	内	(695,727) 千円	
R3	事業費		<ul style="list-style-type: none"> 点検整備・保守業務 機器修繕 部品費用 薬品費用 電気水道料金 その他運転に必要な経費
	全	720,579 千円	
	内	(720,579) 千円	

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

【自己評価】 ※H30~R3を通して

スリム目標への貢献度	定量的評価(数値あり)		定性的評価(数値なし)
	達成状況		◎ (◎:達成 ○:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -:他)
事業の実施結果 (目的・目標の達成状況など)	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の燃焼に伴う排ガス等については排出基準値内で適切に処理をした。 ・安定的に廃棄物の処理を実施した。 年間焼却量 H30:152,928t、R1:144,907t、R2:128,721t、R3:128,478t ※R3は暫定数値 ・廃棄物焼却時のエネルギーを活用し、蒸気タービンで発電して工場の運転に使用するとともに、余剰電力を売却した。 年間発電量 H30:31,524MWh、R1:31,356MWh、R2:28,958MWh、R3:28,532MWh 余剰電力量 H30:15,008MWh、R1:14,921MWh、R2:14,528MWh、R3:14,100MWh ※R3は暫定数値 		
事業の評価・課題	工場のしゅん功から約30年が経過し、老朽化が進行している機器が増加してきている。		
今後の事業方針 (課題への対応や事業目標の設置)	安定的な廃棄物の処理体制を維持するため、点検整備や保守を継続して行っていく。老朽化してきている機器については、適宜更新を実施していく。		

【懇話会の意見等】 懇話会で意見があった場合のみ記載する

意見・提案等	
--------	--

新スリムシティさっぽろ計画 事業評価シート

【事業の概要】

事業名	駒岡清掃工場運営管理費			
事業内容 (取組内容)	市域内から発生する一般廃棄物(可燃ごみ)及び告示で定める可燃性産業廃棄物を焼却処理する施設であり、当該事業は関係法令等に基づき適正に運営管理する事業である。最新の清掃工場として設備の自動化を推進するとともに、信頼性・安定性のある焼却、効率の良い運営管理を目指している。			
事業の目的・目標	市域内から発生する一般廃棄物(可燃ごみ)及び告示で定める可燃性産業廃棄物を関係法令に基づき適正に処理するため、設備の維持管理、保守点検、修繕を行う。			
事業の指標	指標1	—	目標	—
	指標2	—	目標	—
所管課	施設管理課	関係課		

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標 (最大2つまで)	—
対応するモニター指標	—
対応施策：大	施策5 持続可能な収集・処理体制の確立
施策：中	5-1 資源循環処理体制の確立
施策：小	(1) 廃棄物エネルギーの有効利用
他の施策(番号のみ)	5-4-(2)

【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること

H30	事業費		<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転委託費用 ・ 点検整備・保守業務 ・ 機器修繕 ・ 部品費用 ・ 薬品費用 ・ 電気水道料金 その他運転に必要な経費
	全	870,546 千円	
	内	(870,546) 千円	
R1	事業費		<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転委託費用 ・ 点検整備・保守業務 ・ 機器修繕 ・ 部品費用 ・ 薬品費用 ・ 電気水道料金 その他運転に必要な経費
	全	929,160 千円	
	内	(929,160) 千円	
R2	事業費		<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転委託費用 ・ 点検整備・保守業務 ・ 機器修繕 ・ 部品費用 ・ 薬品費用 ・ 電気水道料金 その他運転に必要な経費
	全	891,878 千円	
	内	(891,878) 千円	
R3	事業費		<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転委託費用 ・ 点検整備・保守業務 ・ 機器修繕 ・ 部品費用 ・ 薬品費用 ・ 電気水道料金 その他運転に必要な経費
	全	935,734 千円	
	内	(935,734) 千円	

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

【自己評価】 ※H30~R3を通して

スリム目標への貢献度	定量的評価(数値あり)		定性的評価(数値なし)
	達成状況 ◎ (◎:達成 ○:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -:他)		
事業の実施結果 (目的・目標の達成状況など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物の燃焼に伴う排ガス等については排出基準値内で適切に処理をした。 ・ 安定的に廃棄物の処理を実施した。 年間焼却量 H30:125,813t、R1:125,157t、R2:123,201t、R3:115,334t ※R3は暫定数値 ・ 廃棄物焼却時のエネルギーを活用し、蒸気タービンで発電して工場の運転に使用するとともに、余剰電力を売却した。 年間発電量 H30:23,157MWh、R1:22,174MWh、R2:22,771MWh、R3:22,136MWh 余剰電力量 H30:9,226MWh、R1:8,411MWh、R2:9,001MWh、R3:8,603MWh ※R3は暫定数値 		
事業の評価・課題	工場のしゅん功から約40年が経過し、老朽化が進行している機器が増加してきている。		
今後の事業方針 (課題への対応や事業目標の設置)	安定的な廃棄物の処理体制を維持するため、点検整備や保守を継続して行っていく。老朽化してきている機器については、適宜更新を実施していく。		

【懇話会の意見等】 懇話会で意見があった場合のみ記載する

意見・提案等	
--------	--

新スリムシティさっぽろ計画 事業評価シート

【事業の概要】

事業名	白石清掃工場運営管理費			
事業内容 (取組内容)	市域内から発生する一般廃棄物(可燃ごみ)及び告示で定める可燃性産業廃棄物を焼却処理する施設であり、当該事業は関係法令等に基づき適正に運営管理する事業である。最新の清掃工場として設備の自動化を推進するとともに、信頼性・安定性のある焼却、効率の良い運営管理を目指している。			
事業の目的・目標	市域内から発生する一般廃棄物(可燃ごみ)及び告示で定める可燃性産業廃棄物を関係法令に基づき適正に処理するため、設備の維持管理、保守点検、修繕を行う。			
事業の指標	指標1	—	目標	—
	指標2	—	目標	—
所管課	施設管理課	関係課		

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標 (最大2つまで)	—
対応するモニター指標	—
対応施策：大	施策5 持続可能な収集・処理体制の確立
施策：中	5-1 資源循環処理体制の確立
施策：小	(1) 廃棄物エネルギーの有効利用
他の施策(番号のみ)	5-4-(2)

【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること

H30	事業費		<ul style="list-style-type: none"> ・点検整備・保守業務 ・機器修繕 ・部品費用 ・薬品費用 ・電気水道料金 その他運転に必要な経費
	全	1,195,805 千円	
	内	(1,195,805) 千円	
R1	事業費		<ul style="list-style-type: none"> ・点検整備・保守業務 ・機器修繕 ・部品費用 ・薬品費用 ・電気水道料金 その他運転に必要な経費
	全	1,062,141 千円	
	内	(1,062,141) 千円	
R2	事業費		<ul style="list-style-type: none"> ・点検整備・保守業務 ・機器修繕 ・部品費用 ・薬品費用 ・電気水道料金 その他運転に必要な経費
	全	1,112,423 千円	
	内	(1,112,423) 千円	
R3	事業費		<ul style="list-style-type: none"> ・点検整備・保守業務 ・機器修繕 ・部品費用 ・薬品費用 ・電気水道料金 その他運転に必要な経費
	全	1,166,523 千円	
	内	(1,166,523) 千円	

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

【自己評価】 ※H30~R3を通して

スリム目標への貢献度	定量的評価(数値あり)		定性的評価(数値なし)	
	達成状況		◎	(◎:達成 ○:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -:他)
事業の実施結果 (目的・目標の達成状況など)	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の燃焼に伴う排ガス等については排出基準値内で適切に処理をした。 ・安定的に廃棄物の処理を実施した。 年間焼却量 H30:178,972t、R1:181,730t、R2:183,339t、R3:189,448t ※R3は暫定数値 ・廃棄物焼却時のエネルギーを活用し、蒸気タービンで発電して工場の運転に使用するとともに、余剰電力を売却した。 年間発電量 H30:88,686MWh、R1:88,031MWh、R2:88,800MWh、R3:91,319MWh 余剰電力量 H30:61,497MWh、R1:59,389MWh、R2:60,265MWh、R3:64,379MWh ※R3は暫定数値 			
事業の評価・課題	工場のしゅん功から約20年が経過し、老朽化が進行している機器が増加してきている。			
今後の事業方針 (課題への対応や事業目標の設置)	安定的な廃棄物の処理体制を維持するため、点検整備や保守を継続して行っていく。老朽化してきている機器については、適宜更新を実施していく。			

【懇話会の意見等】 懇話会で意見があった場合のみ記載する

意見・提案等	
--------	--

新スリムシティさっぽろ計画 事業評価シート

【事業の概要】

事業名	発寒清掃工場整備費			
事業内容 (取組内容)	発寒清掃工場並びに破碎工場の処理能力を維持するための整備を行う。			
事業の目的・目標	発寒清掃工場並びに破碎工場の処理能力をより一層効果的・効率的に維持する。			
事業の指標	指標1	—	目標	—
	指標2	—	目標	—
所管課	施設整備課	関係課	発寒清掃工場	

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標 (最大2つまで)	埋立処分量の減量目標
対応するモニター指標	—
対応施策：大	施策5 持続可能な収集・処理体制の確立
施策：中	5-1 資源循環処理体制の確立
施策：小	(3) 計画的な処理施設の整備等の検討
他の施策(番号のみ)	—

【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること

H30	事業費	発寒清掃工場並びに破碎工場の下記設備について更新及び整備を実施。 ・ごみ供給設備 ・計装設備 ・破碎設備 ・燃焼設備 ・集じん設備 ・搬送設備 ・電気設備 ・計装設備 ・建築設備	
	全		1,553,610 千円
	内		(1,553,610) 千円
R1	事業費	発寒清掃工場の下記設備について更新及び整備を実施。 ・電気設備 ・燃焼設備 ・燃焼ガス冷却設備 ・機器冷却設備 ・灰出し設備 ・ごみ受け入れ設備 ・照明設備 ・昇降設備	
	全		824,001 千円
	内		(824,001) 千円
R2	事業費	発寒清掃工場の下記設備について更新及び整備を実施。 ・電気設備 ・建築設備 ・燃焼ガス冷却設備 ・排ガス設備 ・発電設備 ・ごみ受け入れ設備 ・クレーン設備	
	全		1,407,005 千円
	内		(1,407,005) 千円
R3	事業費	発寒清掃工場並びに破碎工場の下記設備について更新及び整備を実施。 ・電気設備 ・建築設備 ・燃焼ガス冷却設備 ・排ガス設備 ・灰出し設備 ・ごみ受け入れ設備 ・破碎設備 ・搬出設備	
	全		1,451,086 千円
	内		(1,451,086) 千円

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

【自己評価】 ※H30~R3を通して

スリム目標への貢献度	定量的評価(数値あり)		定性的評価(数値なし)
	達成状況		数値では示せないが、本事業により、埋立処分量の減量に一定の効果があったと考えている。
事業の実施結果 (目的・目標の達成状況など)	◎	(◎:達成 ○:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -:他)	
事業の評価・課題	計画的な整備により、焼却処理及び破碎処理を継続できていることから、発寒清掃工場及び破碎工場の効果的な整備が行えたと考える。		
今後の事業方針 (課題への対応や事業目標の設置)	引き続き、発寒清掃工場及び破碎工場の安定した運転を継続するため、計画的な整備を進めていく。		

【懇話会の意見等】 懇話会で意見があった場合のみ記載する

意見・提案等	
--------	--

新スリムシティさっぽろ計画 事業評価シート

【事業の概要】

事業名	駒岡清掃工場整備費			
事業内容 (取組内容)	駒岡清掃工場並びに破碎工場の処理能力を維持するための整備を行う。			
事業の目的・目標	稼働停止まで、駒岡清掃工場並びに破碎工場の処理能力をより一層効果的・効率的に維持する。			
事業の指標	指標1	—	目標	—
	指標2	—	目標	—
所管課	施設整備課	関係課	駒岡清掃工場	

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標 (最大2つまで)	埋立処分量の減量目標
対応するモニター指標	—
対応施策：大	施策5 持続可能な収集・処理体制の確立
施策：中	5-1 資源循環処理体制の確立
施策：小	(3) 計画的な処理施設の整備等の検討
他の施策(番号のみ)	—

【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること

H30	事業費		駒岡清掃工場の下記設備について更新及び整備を実施。 ・回転破碎機設備 ・灰出し設備 ・発電設備 ・計装設備 ・電気設備
	全	386,349 千円	
	内	(386,349) 千円	
R1	事業費		駒岡清掃工場の下記設備について更新及び整備を実施。 ・受入供給設備 ・クレーン設備 ・計装設備 ・燃焼ガス冷却設備 ・発電設備
	全	364,472 千円	
	内	(364,472) 千円	
R2	事業費		(令和2年より事業終了)
	全	— 千円	
	内	— 千円	
R3	事業費		(令和2年より事業終了)
	全	— 千円	
	内	— 千円	

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

【自己評価】 ※H30~R3を通して

スリム目標への貢献度	定量的評価(数値あり)		定性的評価(数値なし)
	達成状況		数値では示せないが、本事業により、埋立処分量の減量に一定の効果があったと考えている。
事業の実施結果 (目的・目標の達成状況など)	◎	(◎:達成 ○:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -:他)	
事業の実施結果	駒岡清掃工場の焼却処理及び破碎工場の破碎処理により、廃棄物の容量が減量されることから、令和6年の稼働停止まで駒岡清掃工場及び破碎工場の安定した運転が維持できる計画的な整備を実施した。		
事業の評価・課題	計画的な整備により、焼却処理及び破碎処理を継続できているが、全体的な設備の老朽化は避けられないことから、事業終了後、設備保全のための予算確保が課題と考える。		
今後の事業方針 (課題への対応や事業目標の設置)	令和元年度で事業終了。		

【懇話会の意見等】 懇話会で意見があった場合のみ記載する

意見・提案等	
--------	--

新スリムシティさっぽろ計画 事業評価シート

【事業の概要】

事業名	白石清掃工場整備費			
事業内容 (取組内容)	白石清掃工場並びに篠路破砕工場の処理能力を維持するための整備を行う。			
事業の目的・目標	白石清掃工場並びに篠路破砕工場の処理能力をより一層効果的・効率的に維持する。			
事業の指標	指標1	—	目標	—
	指標2	—	目標	—
所管課	施設整備課	関係課	白石清掃工場	

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標 (最大2つまで)	埋立処分量の減量目標
対応するモニター指標	—
対応施策：大	施策5 持続可能な収集・処理体制の確立
施策：中	5-1 資源循環処理体制の確立
施策：小	(3) 計画的な処理施設の整備等の検討
他の施策(番号のみ)	—

【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること

H30	事業費	白石清掃工場の下記設備について更新及び整備を実施。 ・ 燃焼ガス冷却設備 ・ 排ガス処理設備 ・ 灰搬出設備 ・ ごみ受入設備 ・ 建築設備
	全 501,116 千円 内 (501,116) 千円	
R1	事業費	白石清掃工場の下記設備について更新及び整備を実施。 ・ 燃焼設備 ・ 燃焼ガス冷却設備 ・ 排ガス処理設備 ・ 計装設備 ・ クレーン設備 ・ 空気圧縮機設備 ・ 建築設備
	全 425,257 千円 内 (425,257) 千円	
R2	事業費	白石清掃工場の下記設備について更新及び整備を実施。 ・ 燃焼ガス冷却設備 ・ 建築設備 ・ 燃焼設備 ・ 排ガス処理設備 ・ ごみ供給設備 ・ ロードヒーティング設備 ・ 破砕設備
	全 571,301 千円 内 (571,301) 千円	
R3	事業費	白石清掃工場の下記設備について更新及び整備を実施。 ・ 燃焼設備 ・ ごみ受け入れ却設備 ・ 建築設備 ・ 計量設備 ・ 空調設備 ・ ロードヒーティング設備
	全 524,797 千円 内 (524,797) 千円	

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

【自己評価】 ※H30~R3を通して

スリム目標への貢献度	定量的評価(数値あり)		定性的評価(数値なし)	
	達成状況		◎ (◎:達成 ○:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -:他)	
◎			数値では示せないが、本事業により、埋立処分量の減量に一定の効果があったと考えている。	
事業の実施結果 (目的・目標の達成状況など)	白石清掃工場の焼却処理及び篠路破砕工場の破砕処理により、廃棄物の容量が減量されることから、白石清掃工場の安定した運転が維持できる計画的な整備を実施した。			
事業の評価・課題	計画的な整備により、焼却処理及び破砕処理を継続できているが、白石清掃工場については、施設の稼働から20年が経過し、全体的に老朽化が進んでいるうえ、他の工場にはない特殊設備が多数あることから、設備更新のための更なる予算の確保が必要と考える。			
今後の事業方針 (課題への対応や事業目標の設置)	白石清掃工場の建替えは多大な経費を要するため、可能な限り延命化する必要がある。引き続き、白石清掃工場の安定した運転の継続と延命化のため、特殊設備の更新等について、計画的な整備を進めていく。また、篠路破砕工場は令和2年度で事業終了。			
意見・提案等	懇話会で意見があった場合のみ記載する			

新スリムシティさっぽろ計画 事業評価シート

【事業の概要】

事業名	仮称) 北部事業予定地・公有財産購入費(用地取得費及び調査・対策費含む)			
事業内容 (取組内容)	①基金地の所管替 ②水道局所管地の所管替 ③建設局所管地の所管換 ④環境保全措置等			
事業の目的・目標	仮称) 北部事業予定地の将来の造成に備えて、予定地内の他部局が所管する用地について所管替・所管換を実施する。 また、環境影響評価書の結果に基づき仮称) 北部事業予定地における環境保全措置方法の検討を進め、最終処分場の造成を進める。			
事業の指標	指標1	-	目標	-
	指標2	-	目標	-
所管課	施設管理課	関係課		

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標 (最大2つまで)	-
対応するモニター指標	-
対応施策：大	施策5 持続可能な収集・処理体制の確立
施策：中	5-2 埋立地の容量確保
施策：小	(1) 埋立地の容量確保
他の施策(番号のみ)	-

【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること

H30	事業費	用地の所管替・所管換を計画的に実施 環境保全措置検討業務(猛禽類調査)を実施
	全 411,188 千円	
	内 (411,188) 千円	
R1	事業費	用地の所管替・所管換を計画的に実施 環境保全措置検討業務(猛禽類調査)を実施
	全 411,659 千円	
	内 (411,659) 千円	
R2	事業費	用地の所管替・所管換を計画的に実施 環境保全措置検討業務(猛禽類調査)を実施
	全 485,370 千円	
	内 (485,370) 千円	
R3	事業費	用地の所管替・所管換を計画的に実施 環境保全措置検討業務(猛禽類調査)を実施
	全 121,921 千円	
	内 (121,921) 千円	

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

【自己評価】 ※H30~R3を通して

スリム目標への貢献度	定量的評価(数値あり)		定性的評価(数値なし)	
	達成状況 ◎ (◎:達成 ○:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -:他)			
事業の実施結果 (目的・目標の達成状況など)	仮称) 北部事業予定地の将来の造成に備えて、予定地内の他部局が所管する用地について、所管替・所管換を進めることができた。 また、環境保全措置方法について検討を進めることができた。			
事業の評価・課題	埋立地の取得及び環境保全措置方法の検討を進めることで、将来のごみ埋立容量の確保が計画的に行えたと考える。			
今後の事業方針 (課題への対応や事業目標の設置)	今後も、仮称) 北部事業予定地の用地の取得を計画的に進め、ごみ埋立地の確保に努める。			

【懇話会の意見等】 懇話会で意見があった場合のみ記載する

意見・提案等	
--------	--

新スリムシティさっぽろ計画 事業評価シート

【事業の概要】

事業名	埋立用地管理費			
事業内容 (取組内容)	ごみ埋立用地として取得済の用地について、将来造成に着手するまでの維持管理（草刈り等）を行う。			
事業の目的・目標	造成に着手するまでの期間、用地の適正管理を行う。			
事業の指標	指標1	—	目標	—
	指標2	—	目標	—
所管課	施設管理課	関係課		

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標 (最大2つまで)	—
対応するモニター指標	—
対応施策：大	施策5 持続可能な収集・処理体制の確立
施策：中	5-2 埋立地の容量確保
施策：小	(1) 埋立地の容量確保
他の施策（番号のみ）	—

【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること

H30		埋立用地の適正な管理のため草刈業務を実施
	事業費	
全	2,959 千円	
内	(2,959) 千円	
R1		埋立用地の適正な管理のため草刈業務を実施
	事業費	
全	2,701 千円	
内	(2,701) 千円	
R2		埋立用地の適正な管理のため草刈業務を実施
	事業費	
全	3,117 千円	
内	(3,117) 千円	
R3		埋立用地の適正な管理のため草刈業務を実施
	事業費	
全	1,708 千円	
内	(1,708) 千円	

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

【自己評価】 ※H30～R3を通して

スリム目標への貢献度	定量的評価（数値あり）		定性的評価（数値なし）	
	達成状況 ◎ (◎:達成 ○:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -:他)			
事業の実施結果 (目的・目標の達成状況など)	ごみ埋立用地として取得済の用地について、将来造成に着手するまでの維持管理（草刈り）を行った。			
事業の評価・課題	ごみ埋立地の造成着手までの期間、用地の適正な維持管理を行うことで円滑な埋立地造成につながるものである。			
今後の事業方針 (課題への対応や事業目標の設置)	今後も、埋立用地の適正な維持管理を行う。			

【懇話会の意見等】 懇話会で意見があった場合のみ記載する

意見・提案等	
--------	--

新スリムシティさっぽろ計画 事業評価シート

【事業の概要】

事業名	事業所の省エネ活動推進費			
事業内容 (取組内容)	環境に配慮した取組を自主的に行っている事業所を本市独自の基準により、レベル1～3の3段階で登録し、その取組内容を広く市民等に市HPなどを通じて紹介する「さっぽろエコメンバー登録制度」を実施している。			
事業の目的・目標	「さっぽろエコメンバー」の登録及びその取組の市民等への周知により、廃棄物の排出抑制等、事業者の環境に配慮した取組を促進する。			
事業の指標	指標1	—	目標	—
	指標2	—	目標	—
所管課	環境政策課	関係課	—	

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標 (最大2つまで)	ごみ排出量の減量目標 廃棄ごみ量の減量目標
対応するモニター指標	—
対応施策：大	施策1 2Rを推進するためのしくみづくり
施策：中	1-1 ごみ発生・排出抑制のための行動の実践
施策：小	(2) 事業者と連携した簡易包装等の推進
他の施策(番号のみ)	—

【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること

H30	事業費	<ul style="list-style-type: none"> 「さっぽろエコメンバー」登録事業所数：2,113件。 取組実施項目「廃棄物の排出抑制」または「廃棄物の分別・リサイクルの実施」を選択した登録事業所数：1,174件。 	
	全		21,162 千円
	内		(99) 千円
R1	事業費	<ul style="list-style-type: none"> 「さっぽろエコメンバー」登録事業所数：2,182件。 取組実施項目「廃棄物の排出抑制」または「廃棄物の分別・リサイクルの実施」を選択した登録事業所数：1,210件。 	
	全		24,321 千円
	内		(85) 千円
R2	事業費	<ul style="list-style-type: none"> 「さっぽろエコメンバー」登録事業所数：1,824件。 取組実施項目「廃棄物の排出抑制」または「廃棄物の分別・リサイクルの実施」を選択した登録事業所数：1,072件。 	
	全		10,000 千円
	内		(113) 千円
R3	事業費	<ul style="list-style-type: none"> 「さっぽろエコメンバー」登録事業所数：1,936件。 取組実施項目「廃棄物の排出抑制」または「廃棄物の分別・リサイクルの実施」を選択した登録事業所数：1,120件(3月末時点)。 	
	全		10,000 千円
	内		(255) 千円

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

【自己評価】 ※H30～R3を通して

スリム目標への貢献度	定量的評価(数値あり)		定性的評価(数値なし)
	達成状況		「さっぽろエコメンバー」に登録することで、事業所からのごみの排出抑制等の取組が進むなど、環境に配慮した取組への動機づけとなり、「スリム目標(ごみ排出量の減量等)」に一定程度寄与していると考えられる。
事業の実施結果 (目的・目標の達成状況など)	—	(◎:達成 ○:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -:他)	
事業の評価・課題	登録件数は年によって増減があるが、毎年2,000件程度(H30～R3登録事業所数平均:2,014件)で推移している。 H30年度:2,113件(レベル1:908件、レベル2:660件、レベル3:545件) R1年度:2,182件(レベル1:979件、レベル2:694件、レベル3:509件) R2年度:1,824件(レベル1:816件、レベル2:542件、レベル3:466件) R3年度:1,936件(レベル1:769件、レベル2:703件、レベル3:464件) ※R3年度は3月末時点		
今後の事業方針 (課題への対応や事業目標の設置)	事業を継続し、未登録事業者への周知・PR方法の改善を検討していくことで、環境に配慮した事業者の取組の輪をさらに広げていく。		

【懇話会の意見等】 懇話会で意見があった場合のみ記載する

意見・提案等	
--------	--

新スリムシティさっぽろ計画 事業評価シート

【事業の概要】

事業名	市有施設の省エネ化等推進費			
事業内容 (取組内容)	本市が率先して環境負荷の低減に資する物品及び役務の優先的な調達を推進するため「札幌市グリーン購入ガイドライン」を定め、毎年度見直しを行っている。 また、一部の対象品目について、EMS規定に基づき前年度の調達率の実績を収集する。			
事業の目的・目標	環境方針に「環境負荷の少ない製品やサービスの利用を推進」することを掲げ、本市における物品および役務の調達において、グリーン購入を推進する			
事業の指標	指標1	—	目標	—
	指標2	—	目標	—
所管課	環境エネルギー課	関係課	—	

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標 (最大2つまで)	—
対応するモニター指標	—
対応施策：大	施策1 2Rを推進するためのしくみづくり
施策：中	1-1 ごみ発生・排出抑制のための行動の実践
施策：小	(4) 環境配慮型製品購入などの促進に向けた取組
他の施策(番号のみ)	—

【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること

H30	事業費	国が定める環境物品等の調達の推進に関する基本方針の改定内容を参考に、「札幌市グリーン購入ガイドライン」対象品目、判断基準等の見直しを実施した。 一部の対象品目について、EMS規定に基づき前年度の調達率を集計した。 (前年度(2017年度)調達率集計値：94.5%)	
	全		6,000 千円
	内		(0) 千円
R1	事業費	国が定める環境物品等の調達の推進に関する基本方針の改定内容を参考に、「札幌市グリーン購入ガイドライン」対象品目、判断基準等の見直しを実施した。 一部の対象品目について、EMS規定に基づき前年度の調達率を集計した。 (前年度(2018年度)調達率集計値：94.3%)	
	全		6,700 千円
	内		(0) 千円
R2	事業費	国が定める環境物品等の調達の推進に関する基本方針の改定内容を参考に、「札幌市グリーン購入ガイドライン」対象品目、判断基準等の見直しを実施した。 一部の対象品目について、EMS規定に基づき前年度の調達率を集計した。 (前年度(2019年度)調達率集計値：93.5%)	
	全		24,000 千円
	内		(0) 千円
R3	事業費	国が定める環境物品等の調達の推進に関する基本方針の改定内容を参考に、「札幌市グリーン購入ガイドライン」対象品目、判断基準等の見直しを実施した。 EMS規定に基づく調達率の集計は、新型コロナウイルス感染症に伴う業務縮小の一環として中止した。	
	全		18,000 千円
	内		(0) 千円

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

【自己評価】 ※H30~R3を通して

評価項目	定量的評価(数値あり)		定性的評価(数値なし)	
	スリム目標への貢献度	/		/
事業の実施結果 (目的・目標の達成状況など)	達成状況	◎	(◎:達成 ○:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -:他)	
事業の評価・課題	集計対象品目におけるグリーン物品の調達率は、高い水準で推移しており、今後も継続して取組に努める。			
今後の事業方針 (課題への対応や事業目標の設置)	今後も継続して取組に努める。			

【懇話会の意見等】 懇話会で意見があった場合のみ記載する

意見・提案等	
--------	--

新スリムシティさっぽろ計画 事業評価シート

【事業の概要】

事業名	枝・葉・草リサイクル事業（定山溪地域）		
事業内容 （取組内容）	定山溪バイオマスタウン構想に基づき、主に定山溪地域から排出された枝・葉・草を同地域内で堆肥として資源化し、バイオマスの地域内循環を図る。		
事業の目的・目標	市域内一般家庭から発生する枝・葉・草を原料として、たい肥を製造し、市域内に還元することにより循環型リサイクルを推進する。		
事業の指標	指標1	枝・葉・草搬入量	目標 1,500t
	指標2		目標 -
所管課	循環型社会推進課	関係課	施設管理課

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標 （最大2つまで）	廃棄ごみ量の減量目標 家庭から出る廃棄ごみ量の減量目標
対応するモニター指標	リサイクル率
対応施策：大	施策3 事業ごみの減量・リサイクルの取組促進
施策：中	3-1 事業者による自主的な取組の促進
施策：小	(5) 定山溪地区における地域内循環の取組促進
他の施策（番号のみ）	

【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること

H30	事業費	・枝・葉・草搬入量 家庭系 1,576t 事業系 118.1t ・事業系生ごみ搬入量 3,889.9t ・堆肥生産量 1,489m ³
	全	185,757 千円
	内	(34,032) 千円
R1	事業費	・枝・葉・草搬入量 家庭系 1,491t 事業系 60.2t ・事業系生ごみ搬入量 3,921.9t ・堆肥生産量 1,966m ³
	全	188,618 千円
	内	(32,374) 千円
R2	事業費	・枝・葉・草搬入量 家庭系 1,473t 事業系 67.3t ・事業系生ごみ搬入量 3,535.8t ・堆肥生産量 1,012m ³
	全	170,151 千円
	内	(32,407) 千円
R3	事業費	・枝・葉・草搬入量 家庭系 1,468.5t 事業系 11.7t ・事業系生ごみ搬入量 3,362.0t ・堆肥生産量 765m ³
	全	172,044 千円
	内	(32,307) 千円

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

【自己評価】 ※H30~R3を通して

スリム目標への貢献度	定量的評価（数値あり）		定性的評価（数値なし）
	搬入された枝・葉・草は堆肥となり適切にリサイクルされており、廃棄ごみの減量に貢献している。 H28家庭系 2,416.9t 事業系 969.6t H29家庭系 1,535.9t 事業系 222.9t H30家庭系 1,576t 事業系 118.1t R01家庭系 1,491t 事業系 60.2t 家庭系 1,473t 事業系 67.3t 家庭系 1,468.5t 事業系 11.7t		R02 R03
事業の実施結果 （目的・目標の達成状況など）	搬入された枝・葉・草はリサイクルされている。 施設の処理能力は9,000t/年であり、そのうち定山溪バイオマスタウン構想に基づく枝・葉・草の処理量が3,000t/年であるが、悪臭への対応のため、計画期間の搬入量は半分に留まっている。		
事業の評価・課題	達成状況	▲	(◎:達成 ○:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -:他)
今後の事業方針 （課題への対応や事業目標の設置）	引き続き定期的に施設を視察、処理業者にヒアリングを行うことで搬入量増加に向けた対応を検討する。		

【懇話会の意見等】 懇話会で意見があった場合のみ記載する

意見・提案等	
--------	--

新スリムシティさっぽろ計画 事業評価シート

【事業の概要】

事業名	清掃計画費 (未利用資源の活用・災害処理・広域処理の検討)			
事業内容 (取組内容)	①廃棄物資源化等に向けた調査・研究 ②廃棄物系バイオマスなどの再生可能エネルギーとしての活用の検討 ③民間施設を活用したごみ処理の調査・研究 ④災害廃棄物処理計画の策定 ⑤広域処理に関する他自治体との検討			
事業の目的・目標	・廃棄物の新たな資源化により、廃棄ごみ量の減量に繋げる ・災害廃棄物の処理を適正、迅速に行えるよう計画を策定する ・広域処理の検討			
事業の指標	指標1	未利用の資源の活用について	目標	—
	指標2		目標	—
所管課	循環型社会推進課	関係課	—	

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標 (最大2つまで)	廃棄ごみ量の減量目標 家庭から出る廃棄ごみ量の減量目標
対応するモニター指標	リサイクル率
対応施策：大	施策5 持続可能な収集・処理体制の確立
施策：中	5-3 未利用資源の活用の検討
施策：小	(1) 廃棄物の資源化等に向けた調査・研究
他の施策(番号のみ)	5-3-(2)、5-3-(3)、6-3-(1)、6-4-(1)

【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること

H30	事業費		災害廃棄物処理計画を策定
	全	22,740 千円	
	内	(0) 千円	
R1	事業費		—
	全	17,218 千円	
	内	(0) 千円	
R2	事業費		—
	全	10,621 千円	
	内	(0) 千円	
R3	事業費		災害廃棄物処理計画の見直し 令和4年4月から施行される「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に伴い、製品プラスチックのリサイクルが促進されているが、不確定要素もあることから、国の動向を見ている (①廃棄物資源化等に向けた調査・研究)
	全	29,095 千円	
	内	(0) 千円	

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

【自己評価】 ※H30~R3を通して

評価項目	定量的評価 (数値あり)		定性的評価 (数値なし)
	スリム目標への貢献度		
事業の実施結果 (目的・目標の達成状況など)	達成状況	—	(◎:達成 ○:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 —:他)
事業の評価・課題	スリム目標の目標値に近づいていないことから、新たな廃棄物の資源化の検討も必要。		
今後の事業方針 (課題への対応や事業目標の設置)	廃棄物の資源化等や廃棄物の活用について調査・研究を継続する。		

【懇話会の意見等】 懇話会で意見があった場合のみ記載する

意見・提案等	
--------	--